

みどりの風

今月の表紙「御神幸行列」(撮影：福永 亮二 様) 第13回 未来に伝えたい農業・農村の風景フォトコンテスト入選作品

CONTENTS

- 農政連推薦 東野ひでき氏当選、熊本選挙区で馬場成志氏当選
- 藤木しんや活動報告
- 参議院議員 藤木しんや氏コラム
- 第27回参議院議員通常選挙の結果
- 農政連総支部だより(五名)
- 中央会・連合会からのお知らせ



あぜみち

連日報道されるコメ価格高騰。特に小泉進次郎農水大臣が就任して以来、メディアが取り上げ、過熱ぶりが続いている。当初は、備蓄米の放出方法の変更で、競争入札から随意契約での売り渡しになり、さらに販売価格を示唆するような発言もあり、随意契約に応募した業者もその価格に引きずられる形での販売となっている。

また、コメ流通の構造にも疑問を呈し、一部の卸業者が500%以上の利益を出しているという報道もあり、該当する業者は異例のコメントを発表し不満を露わにした。

さらに約70年以上も続くコメの豊作や不作をわかりやすく示す指標として活用されてきた作況指数を廃止すると表明した。農水省は、昨年の作況指数は「平年並み」の101で生産量は足りていると説明していた。ただ、実際の収穫量は少ないとの見方が多く、実態との差が指摘されていた。

コメ価格の地域差も話題になっている。コシヒカリ5キロの価格は、東日本の最高値と西日本の最安値では約1.4倍の開きがある。米価は冬の天気図と同様に「西高東低」の状況だ。コメの主産地が東日本に多く、西日本に行けば行くほど、輸送距離が伸びて流通コストが上乘せされることも価格差の要因と見る向きもある。

また、JA全中の山野徹会長は、小泉大臣の概算金方式の見直しにかかる発言について、「最終的には生産者が選択することになるが、買取方式は1つの選択肢である」との考え方を示した。

農政連推薦 東野ひでき氏当選・熊本選挙区で馬場成志氏当選

第27回参議院議員通常選挙の投票率が7月20日に行われ、全国農政連と熊本県農政連が推薦した東野ひでき氏と、熊本県選挙区から出馬した馬場成志氏がめでたく当選されました。

全国比例区で初当選した東野ひでき氏は、選挙期間中、「食料安全保障や担い手不足、再生産可能な価格形成などの課題がある中で、農業者がこれならやっというける、安心してバトンを渡せる環境を今つくらなければならぬ。農畜産物を作る人とそれを食べる人が共に幸せになること、安心できることが食料安全保障の二丁目一番地だ」と強く訴えてきました。

また、「全国共通の課題があり、それぞれ地域の課題があることを感じている。特に後継者問題が深刻だ。このままでは10年後担い手が誰もいなくなってしまう。田植えができなくなり、農地が耕作放棄地となってしまう。食料自給率38%も3割4割低下する。農業の憲法が改正され食料安全保障という大きな看板が掲げられた。これを実効性のあるものにしていかなければならない。そして、上昇したコスト、皆さんの汗と苦労が再生産価格に反映されていかなければ営農継続はできない。一番大事なのは、作る人と食べる人とそれを支える人すべてが安心して安定して幸せに食べ続けていけることがまさにこの国の食料安全保障だ」と語りました。

今回の参議院議員通常選挙は、投票率が全国で58%（前回より約6ポイントアップ）、熊本選挙区で59%（前回より約10ポイントアップ）という状況になりました。今回の選挙は期日前投票が好調で、3年前の前回から656万人増えて2、618万人と過去最高を更新しました。東野ひでき氏は、藤木しんや氏が出馬した3年前の選挙結果と比べると、全体得票数は約18・8万票の同程度であったものの、熊本県内では約7、600票と約1・6万票下回りました。

6年前の選挙から新設された特定枠を除くと、自民党内順位は、4位で当選を果しました。

【全中、全国農政連両会長の談話】

全国農業者農政運動組織連盟の長谷川浩敏会長は、「選挙戦では、食料安全保障、とりわけ米政策が争点となった。生産者の再生産を持続的に確保し、消費者が安心して食べ続けていける環境整備を図ることの必要性について共通の認識が示されたことは大きく評価したい」と、談話を表明しました。

また、JA全中の山野徹会長は、JAグループ組織内候補の東野ひでき氏が当選したことについて、「農業構造転換集中対策の推進や水田・畑作政策の見直しなど施策の具体化を早急に行うべきだ」と語りました。

【馬場成志氏が3選】

熊本選挙区で当選した馬場成志氏は、「熊本地震と熊本豪雨からの復興、TSMCの誘致などチーム熊本の一員として取り組んできた。12年間の実績を評価いただいた。熊本の発展を日本全国の先駆けにしていかなければならない」と語りました。

参議院議員選挙比例代表における自由民主党の主な組織票と当選者

主な団体	立候補者氏名	得票数	当落
全国郵便局長会	犬童 周作	48万2058	当
全国建設業協会	見坂 茂範	21万8072	当
全国農業者農政運動組織連盟	東野ひでき	18万7946	当
日本医師連盟	釜沼 敏	17万4434	当
日本看護連盟	石田 昌宏	15万2649	当
日本薬剤師連盟	本田 顕子	15万7188	当
全国土地改良政治連盟	宮崎 雅夫	12万7001	落
日本歯科医師連盟	比嘉奈津美	10万1975	落
全国商工政治連盟	宮窪 大作	8万0326	落

参議院議員通常選挙 全国比例の政党別得票結果

主な政党	得票率	党名票の割合	個人名の割合
自民党	21.64%	71.79%	28.20%
国民民主党	12.87%	84.29%	15.70%
参政党	12.54%	89.85%	10.14%
立憲民主党	12.49%	81.74%	18.25%
公明党	8.80%	63.05%	36.94%
日本維新の会	7.39%	89.27%	10.72%
れいわ新選組	6.55%	92.75%	7.24%
保守党	5.03%	58.94%	41.05%
共産党	4.84%	90.13%	9.86%
社民党	2.05%	73.78%	26.21%
その他政党計	5.80%	-	-



▲初当選を果たした東野ひでき氏



▲3期目の当選を果たした馬場成志氏

参議院議員

Fujiki Shinya
activity report

藤木しんや

農家の声を
国政に!



活動報告

4つのVision

- ① 生産現場からの声を国政に届け、実現します
- ② 食料安全保障の強化の実現を目指します
- ③ 中小・家族経営、中山間地農業への更なる
理解と支援の拡充に取り組みます
- ④ 地域の拠り所であるJAの取組を後押しします

参議院議員2期目(平成28年7月初当選)
藤木しんやプロフィール

【自由民主党役職】

農林部会長代理
食料安全保障強化本部事務局次長
農林部会 野菜・果樹・畑作物等対策委員長
農林部会 畜産・酪農対策委員会事務局次長
参議院自由民主党 政策審議副会長

【参議院所属委員会】

決算委員会 理事
東日本大震災復興特別委員会 理事
災害対策特別委員会 理事
農林水産委員会
憲法審査会

【これまでの主な役職等】

農林水産大臣政務官(2回)
自由民主党 農林部会畜産酪農対策委員会事務局長 など



農家・農業の未来のため全力で頑張ります



都内で東野ひでき氏とがっちり握手
(5月8日)



JAグループ農政集会(5月13日)



自民党農政緊急決起大会(5月21日)



都内で東野ひでき氏出陣式(7月3日)



熊本県内で自民党候補を応援
(7月15日)



都内で東野ひでき氏の当選を祝福
(7月20日)

全国農政連推薦・農政連公認
参議院議員藤木しんやの

永田町でも**百姓宣言**

【東野ひでき氏と共に頑張ります】

7月20日(日)、参議院選挙の開票が行われ、農業者代表として立候補した東野ひでき候補が、当選されました。また、熊本選挙区では、馬場せいし候補が3回目の当選を果たされました。

東野候補は、私と同様に全国比例代表として立候補しているため、47都道府県が選挙区です。17日間という短い期間であったため、東野候補だけでは全国を回ることができないこともあり、私と手分けをして全国を回ることに致しました。私は、選挙期間中、17道府県(徳島県、香川県、岡山県、鳥取県、島根県、山口県、和歌山県、京都府、滋賀県、静岡県、神奈川県、山梨県、茨城県、埼玉県、福島県、岩手県、北海道)の農協の本店・支店や選果場や農産物直売所等の農協関連施設を多数訪問し、東野候補の応援演説をさせていただきました。全国各地を訪問し、あらためて肌で感じたことは、一連の米問題にかかる現政権の対応に対する農業現場の反応は極めて厳しいということでした。今回、全体として非常に厳しい結果となった一つの大きな要因だと思えます。

私は、現職の国会議員として、出来秋に米価の暴落が引き起こされるような状況が懸念される事態、生産者の持続的な営農と農協の共同販売・共同計算という生産者のための仕組みが壊され

るような事態、地域農業の中で唯一無二の役割を担っている農協を無下に否定するような事態、こうした状況にならないよう、全力で取り組んで参る決意です。

今後は、私も東野さんと強固に連携をとり、力を合わせながら、農業者代表国会議員として、国政の場で、農業現場の声を国政に届けて参ります。



▲東野ひでき氏の応援の様子①



▲東野ひでき氏の応援の様子②

第27回参議院議員通常選挙の結果

今回の第27回参議院議員通常選挙は、補欠選挙1を合わせた125議席で争われ、選挙区で74議席、比例区で50議席の合計125議席を巡り、522人が立候補しました。

このうち女性は152人で、全体に占める割合は29.1%。人数割合のいずれも過去2番目に多くなりました。

今回の参議院選挙は、物価高対策や自民党派閥裏金事件に端を発した政治と力不問題、石破首相自身の商品券10万円問題、アメリカ政権の高関税措置への対応などを争点に、石破政権への審判が下されました。当初から自民党への風当たりは強く、6月の東京都議選での獲得議席数が過去最低となったことを受けての参議院選挙突入でした。

政策の争点の一つである物価高対策に対して、与党は2万円の現金給付を打ち出したのに対し、野党はこぞって消費税の引き下げや廃止を打ち出しました。ある新聞社の調査によると現金給付を「評価する」と回答したのはわずか17%にとどまり、「評価しない」と回答した割合は66%と圧倒しました。物価高対策効果への疑問やバラマキとの批判が多数意見を占めました。

投票の結果、自民党と公明党の与党は、非改選議席を合わせた過半数(125議席)を獲得できず、衆議院に続いて参議院でも過半数割れとなりました。一方、野党では立憲民主党が現行議席

を維持し、国民民主党が改選前議席の4倍を獲得、今回の選挙で台風の目となった参政党が大きく議席を伸ばしました。女性の当選者は42人となり、過去最多となりました。

今回の参議院選挙は、投票率の高さにも目を見張りました。

今回の投票率(全国平均)は、選挙区と比例区のいずれも58.51%となり、前回の通常選挙より、いずれも6.46ポイント程度上回りました。期日前投票者数は、前回より65.6万人増えて、約2、618万人となり、参議院議員通常選挙として過去最多を更新しました。

各党派別の獲得議席数 (第27回参議院議員通常選挙結果)

主な政党	獲得議席数	改選議席	(選挙区)	(比例区)
自由民主党	39	52	27	12
立憲民主党	22	22	15	7
国民民主党	17	4	10	7
参政党	14	1	7	7
公明党	8	14	4	4
日本維新の会	7	6	3	4
日本共産党	3	7	1	2
れいわ新選組	3	2	0	3
社会民主党	1	1	0	1
日本保守党	2	0	0	2
諸派	1	1	0	1
諸派・無所属	8	7	8	0

玉名地区総支部だより

県下の農政連各支部を毎月順次紹介します。

今回は、「玉名地区総支部」(前川誠光総支部長、原口武士事務局長)を紹介しします。

玉名地区総支部は、熊本県の北西部に位置し、2市4町を管内としています。玉名地域の中央には阿蘇外輪山を水源とする菊池川が南北に貫流し、この地域を中心とした平坦な地帯では水稻を基幹作物として、「トマト類やイチゴ」、ナスなどの施設園芸が盛んに営まれています。

また、山麓地帯や中間地帯ではミカンや梨などの果樹、野菜、水稻、畜産などを組み合わせた複合経営が行われています。

●通常総会

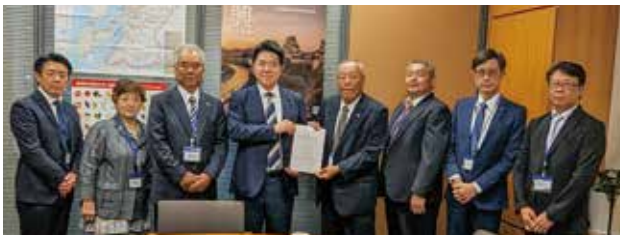
5月30日に第33回通常総会を玉名市内で開催しました。生産資材の高騰や自然災害の頻発化などで農業経営が厳しい中、農業者が将来の展望を持つて営農を継続していくけるよう、国政や県政へ政策の実現を進めるため、3つの実施計画を掲げました。

①総合的な農政の確



▲あいさつをする前川誠光総支部長

玉名地区総支部は5月、東京都の議員会館を訪問し、衆議院の西野だいすけ議員、参議院の藤木しんや議員、松村よしふみ議員、馬場せいし議員へ持続的農業経営継続への要望活動を行いました。近年の燃油や資材の高騰、災害や温暖化による農畜産物の安定供給対策などの課題解決に向けた



▲西野だいすけ議員へ要望書を手渡す青壮年部役員

●国会議員や行政へ要望活動

前川誠光総支部長は「生産者の声を真摯に受け止め、国や県、関係機関に届けるため積極的に活動する。玉名地域の農業が未来へ向けて持続的に発展していくよう協力してほしい」と話しました。

施策の要請を行いました。

昨年12月には、玉名地区総支部管内の各市町を訪問し、「重点支援地方交付金を活用した農業者の経営安定等にかかる緊急要請書」を手渡し、独自の農業者支援を要請しました。



▲玉東町の前田移津行町長へ要請書を手渡す前川誠光総支部長

●東野ひでき氏個人遊説

今夏の参院選において全国農政連と熊本県農政連が全国比例代表として推薦した、東野ひでき氏が7月11日、JAたまな本所を訪問しました。生産者代表や青壮年部、女性部、JA役員らが参加し、激励を贈りました。

東野ひでき氏は農業現場の声を国へ届け、持続可能な農業と食料安全保障の確立にむけた施策の実現を目指しています。

演説後には、一人ひとりと握手を交わし、生産者やJAらが一体となり支援拡大に取り組むことを確認しました。



▲演説をする東野ひでき氏

主な生産部会・組織

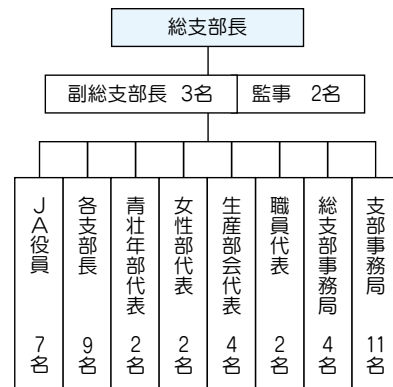
※令和7年5月末時点

組織名	構成員数(人)
青壮年部	192
女性部	660
フレッシュミズ部会	36
普通作部会	1745
柑橘部会	380
梨部会	75
栗部会	200

組織名	構成員数(人)
イチゴ専門部会	189
トマト専門部会	109
ミニトマト専門部会	228
茄子専門部会	113
タケノコ専門部会	341
小物野菜専門部会	99

正組合員数 8,305名
※令和7年3月末時点

玉名地区総支部役員構成



令和7年度熊本県地域営農法人協議会通常総会開催

熊本県地域営農法人協議会は7月22日、熊本市で令和7年度通常総会を開催しました。農事組合人、行政、JAなどから92人が参加し、令和6年度実績や7年度計画など4議案が決議されました。

令和6年度は会計・税務・労務研修会の開催や地域営農法人・組織リーダー研修会における優良事例の共有のほかJAグループとの意見交換会などを実施し、各法人の経営力向上と地域農業の維持発展に努めました。

令和7年度も地域営農法人の経営上の課題解決に向けた情報交換や広域連携・再編に関する研修会、法人化を目指す地域営農組織への指導助言——などを重点的に取り組むことを掲げました。

役員改選では、会長に深水吉人さん（球磨地区）、副会長に浦谷幸司さん（玉名地区）、栃原栄一さん（鹿本地区）を再任しました。深水会長は「米問題をはじめ農政課題が山積し、依然として厳しい農業情勢にあるが、お互いが連携し合い課題解決に取り組んでいきたい」と挨拶しました。

総会後は、農林水産省九州農政局次長の本田光広氏が「新たな食料・農業・農村基本計画における水田政策の動向」について基調講演を行いました。



▲挨拶する深水吉人会長



▲講演する農林水産省九州農政局本田光広次長

熊本の地下水を守る 地域貢献活動に参加

JA熊本経済連は7月12日、熊本市の水前寺江津湖公園での「江津湖クリーン作戦2025」に、令和6年に続き参加しました。新入職員ら12名が、担当エリアの水草除去作業に汗を流しました。この企画は（株）テレビ熊本が毎年開催しており、夏休みを前に、熊本市民のオアシスである江津湖の景観を守ることを目的としています。

熊本は全国有数の地下水都市であり、その豊かな地下水は農業用水としても欠かせない存在となっています。

同連人事・コンプライアンス課の桑本泰紹課長補佐は「炎天下で大変な作業であったが、清掃活動を通じて地下水や景観保全の必要性を改めて感じることができた。今後も地域貢献活動を通じ、本会従業員としての意識啓発と資質向上を図ってほしい」と参加者に思いを込めました。

経済連は、今後も地域と連携しながら、持続可能な農業と豊かな自然環境の実現に取り組む方針です。



▲作業終了後の集合写真



▲除草作業にあたる新入職員ら



2人に1人は「がん」に！9月は「がん征圧月間」です
 生まれ変わったJAのがん共済でがんへの備えをしませんか？

がんへの備えは大丈夫ですか。がんは、2人に1人がかかるとても身近で怖い病気です。JA共済では9月の「がん征圧月間」に合わせ、がんへの備えを強化する取り組みを行っています。

現在のがん治療は、医療技術の進歩による身体への負担が少ない治療法の普及や、がん患者の生存率の向上等により、がんに罹患した後の「生き続けるための保障」が必要となっています。

JAの新たながん共済はそのようなニーズにこたえるため、がん診断共済金やがんの長期治療や再発時に受け取れるがん治療共済金に加えて、通院による抗がん剤治療等を保障するがん治療月額共済金等、より現在のがん治療の実態に合ったものへと生まれ変わりました。

この機会に、がんへの備えについてお近くのJA窓口にてお待ちしております。

上皮内がんを含む
さまざまな

JAのがん共済は



「がん」や脳腫瘍の診断時や再発時、
入院・手術・通院など幅広く保障します。

がん共済の3つの安心

がんの3大治療法に対応！

安心①

上皮内がんを含むさまざまな「がん」や脳腫瘍に対し、入院・手術・放射線治療はもちろん、抗がん剤治療やホルモン剤治療、がん性疼痛等の緩和のための在宅医療も保障します。

安心②

所定のがん治療を受けた月ごとに、
がん治療月額共済金を受け取れます！

通院による抗がん剤治療等、入院している場合の治療に限らず、保障します。
 通算の支払回数に上限はありません。

安心③

オプションの保障で
ご意向にあわせた保障を自由に設計！

まとまった一時金を受け取れる診断保障や、がん診断後の共済掛金の払込みを免除する保障など、ご意向にあわせて保障内容を自由に設計できます。

※詳しくは、お近くのJA窓口までお尋ねください。

がんになっても
安心して、治療が受けられるね！

農政連

JA熊本中央会・各連合会 通常総会を開催

JA熊本中央会・各連合会は、6月30日、JA熊本経済連7階ホールにて通常総会を開催しました。

中央会および各連合会の令和6年度事業報告・収支決算等の各議案について承認されました。

総会で、JA熊本中央会の宮本隆幸会長は「国は食料・農業・農村基本法の改正を受け、令和7年度からの5年間に「農業構造転換集中対策期間」と位置づけ、農業の構造転換に向けた施策を集中的に実施することとしている。我々JAグループは、国に対しこの5年間しっかりと農業・農家が抱える課題を解決するための政策や予算の獲得要請を行っていく。」と挨拶しました。

中央会は、令和6年度事業報告で、「県域JAの実現に向けた取り組みの実践」、「持続可能な農業・農村像の実現に向けた政策実現の推進」、「農業者の所得増大等に向けたJA自己改革に対する総合的な支援の実践」、「持続可能なJAの組織・経営基盤確立に向けた総合的な支援の実践」、「会員ニーズにこたえる本会事業の重点化と支援の強化」の重点取り組み



▲通常総会で挨拶を行うJA熊本中央会の宮本隆幸会長

事項を説明しました。

JA熊本経済連の丁道夫会長は、挨拶で「国内農業は高齢化・担い手不足による、農業者の減少、また、生産コストの高止まりが続く中、担い手の確保やスマート農業の推進など持続可能な発展を目指し、効率性・生産性の向上が求められている。販売面では、販売促進活動の強化に取り組み、熊本果実連とも連携し、「オール熊本」での販売に取り組み、購買では、他県との共同仕入れなど仕入れ機能の強化を図り、コスト低減に取り組んできた」と述べました。

総会では、令和6年度の基本戦略、「生産基盤の拡大と県産農畜産物の販売力発揮」、「生産・流通コストの低減と事業競争力の強化」、「経済連グループ経営基盤の強化」を基に事業別取組事項を報告しました。

厚生連は、「将来を見据えた健康管理事業の推進強化」、「施設検診の機能強化と持続可能な診療業務の展開」、「巡回検診における受診環境の整備」、「産業保健活動の積極的な展開と健康づくりへの取り組み」等の取組事項を説明しました。



▲通常総会で挨拶を行うJA熊本経済連の丁道夫会長

新しくなった
充実のがん保障。

大きな安心で、
「生きる」を応援したい。

がん共済

**がん治療の変化に
しっかり対応!**

過算の支払限度なく、
所定のがん治療を受けた
月ごとに共済金が
受け取れます!

診断保障やがん診断時
共済掛金払込免除特別
など自由に保障を
設計できます!

共済金のお支払い等には所定の条件があります。
※ご加入にあたりましては、お近くのJAにお問い合せください。※この広告は概要を説明したものです。ご契約の際は「重要事項説明書(契約概要・注意事項等)」および「ご契約のしおり(印刷)」を必ずご確認ください。
■JA共済ホームページアドレス: <https://www.ja-kyosai.or.jp>

資料請求は
こちら

聞かせて! **くらしのこと** アンケート
キャンペーン

アンケートに
答えるだけで
豪華賞品が
当たるチャンス!

くらしの保障、相談するなら **JA共済**

耕そう、大地と地域のまらい。JAグループ

2548105000

Photo: 第13回グランプリ作品「収穫できたね」

2025 PHOTO CONTEST KUMAMOTO

**第14回
未来に伝えたい
農業・農村の風景
フォトコンテスト**

「スマホ」で「PR」を「PR」
「スマホ」で「PR」を「PR」
「スマホ」で「PR」を「PR」

熊本市内で撮影の**写真募集!!**
応募作品は1年以内※に撮影されたものに限りさせていただきます。
(※令和7年2月1日以降の作品)

応募テーマ
「農業・農村の美しい四季の風景」「風景と農作業」
「地元の祭りや催事」「農畜産物を食べている人物の写真」
「新しい農業技術を取り入れた風景」など 県内で撮影されたもの。

応募期間
令和8年**1月31日(土)**締切
専用ホームページよりアップロードしてご応募下さい。
応募方法はチラシをご覧ください。

5万円+副賞 (1点)

★RKK賞/1点 賞金2万円+副賞 ★JAグループ熊本賞/1点 賞金2万円+副賞
★たのしい未来賞(インスタグラム部門)/1点 賞金1万円+副賞
※このコンテストグランプリ賞金について「JAグループ熊本賞」の賞金と同様です。授賞式を開催いたします。
※授賞の順は「作品名」「撮影場所」を明記の上、ご応募ください。
★おいしい笑顔賞/1点 賞金1万円+副賞 ★入選/20点 3千円相当の農畜産物
(熊本産産物の農畜産物を食べている人物を撮影した作品)
【副賞:くまもとのおいしい農畜産物】

主催/ JAグループ熊本、RKK熊本放送 ■協賛/「熊本みどり・食・環境基金」 ■後援/熊本県、熊本県教育委員会、熊本日日新聞社

豚肉を美味しく
豚活
【1パック】

くまもとのりんどうポーク
くまもとSPF豚

美味しく
ジューシー♪

スタミナ豚丼

「豚肉です。」
「よたいへん
よくできました。」

JA熊本経済連
JAくまもと肉豚銘柄推進協議会

レシピ
公開中

webでも
ぜひご覧ください♪

「hug」ページ

JAグループ熊本
ホームページ

「食」と「農」の魅力を伝える“ココロとカラダを育む”マガジン。
vol.66 JA直売所等の店頭ラックにて無料配布中!

発行/熊本県農業者政治連盟
熊本市中央区南十軒廻り2-3 電話 096-333-0680-1284
編集責任者 中村 隆宏
発行日/令和7年8月15日(毎月1回15日発行)
●定価/1部50円(但し会員の購読料は会費の中に含む)(税別)

その後、火を使わず煙の出ないマット式の電気蚊取りが開発され、現在は、電気も使わないスプレー式防虫剤やドアや窓にぶら下げて使うものまで販売されています。

蚊は小さい生き物ですが、日本脳炎を発症させ、死亡リスクもあります。水たまりを無くしたり雑草を取り除いたりすることが予防にもなります。今年の予防接種は済みましたが。

**あ
と
が
き**

「振袖草」

撮影: 淵上 絵里 様

第13回 未来に伝えたい農業・農村の風景
フォトコンテスト入選作品